

「環境に配慮した企業経営」に努めています

このたび「1999年版 環境報告書」(創刊号)を発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、地球環境保全を経営の重要課題の一つとして位置づけており、「環境に配慮した企業経営」を行い社会的貢献を果たすべく、本年4月、推進組織として「地球環境部」を新たに設置し、従来にも増してその活動を強化しました。

「環境に配慮した企業経営」を行う上で、当社の環境保全活動への取り組み姿勢を「環境報告書」として取りまとめ、これを公表することによって、さらなる活動の向上を目指すことが企業の責務と考えており、今回、創刊号を発行することにいたしました。

この報告書は、当社の環境保全活動の1998年度実績をまとめたものであり、とくに当社の環境問題への取り組み姿勢を正しく理解していただけるよう、環境情報の公開に重点を置いて作成いたしました。

当社は「第2次環境保全活動基本計画(1997～1999年度)」として、下記の「基本方針」に基づいて、製品の研究・開発から廃棄・リサイクルまで事業活動のあらゆる

段階において全社で取り組み中であり、1998年度は、その中間年度であり、本報告書に示す通り、計画通りの成果を上げることができました。

1. 環境法規を遵守するとともに、「循環型経済社会」の構築に向けて、自主的・積極的に取り組み、社会的責任を全うする。
2. 地球環境保全への自社技術と製品を通して社会に貢献する企業を目指す。
3. ISO14001規格の求める環境マネジメントシステムを構築し、認証取得へ向けての基盤づくりを行う。

ISO14001認証取得活動は、現在、3事業所が認証を取得し、2001年度末までに主な事業所はすべて認証取得を完了する予定です。

現在、当社の環境保全活動の基本体系を、ISO14001規格に合わせるべく全社の環境管理体制の見直しを実施しているところです。今後とも、環境法規を遵守することはもちろん、さらに自主的・積極的な環境保全活動の実践に取り組んでまいります。

今回の報告書が、当社の環境保全活動に対する取り組み姿勢をご理解いただく上でお役に立てれば幸いです。



か め い と し お

取締役社長

亀井俊郎